

条例改正や補正予算など

24議案を原案のとおり可決

請願1件は不採択

平成30年第4回定例会は12月14日から25日までの12日間の会期で開かれました。

議案は、追加議案を含め、条例改正や補正予算等24件を原案可決しました。

また、請願1件を審査しました。補正後の本年度の一般会計の総額は、338億9180万5千円となりました。

主な議案

○大船渡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部改正について

子ども・子育て支援法施行令等の一部改正に伴い、特定教育・保育施設等の利用者負担額に関し、所要の規定の整備をしようとするもの。

○大船渡市緑地広場設置管理に関する条例の一部改正について

細浦地区緑地広場を設置しようとするもの。

○田茂山陸橋橋梁耐震補強工事の請負契約の締結について

・工事の内容
落橋防止装置設置
水平力分担装置設置
橋脚鉄筋コンクリート巻上補強 ほか

・契約の相手方：㈱匠建設
・契約金額：3億564万円
・工期：平成31年3月29日

○市道路線の廃止について

清水山手線 1583・5m

○市道路線の認定について

清水山手線 1690・3m
野々田12号線 145・53m

○あらたに生じた土地の確認について

大船渡港永浜・山口地区のふ頭用地の整備による大船渡港港湾区域内の公有水面の埋立により、あらたに生じた土地3万1867・91㎡の確認をしようとするもの。

○大船渡市一般職の職員の給与に関する条例及び大船渡市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について

岩手県の例に準じて、一般職の職員の給与改定等所要の改正をしようとするもの。

平成30年12月勤勉手当
(改正前) 0.875カ月
(改正後) 0.975カ月

平成31年4月1日以降の勤勉手当
(改正前) 0.875カ月
(改正後) 0.925カ月

○大船渡市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

現下の社会経済情勢を踏まえ、議会議員の期末手当を改正しようとするもの。

○大船渡市常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について

現下の社会経済情勢を踏まえ、

常勤の特別職の職員の期末手当を改定しようとするもの。

▼議員及び市長など特別職
平成30年12月期末手当
(改正前) 1.625カ月
(改正後) 1.725カ月

平成31年4月1日以降の期末手当
(改正前) 1.625カ月
(改正後) 1.675カ月

○平成30年度大船渡市一般会計補正予算(第3号)を定めることについて

被災市街地復興土地区画整理事業をはじめとした復旧・復興に関する経費、市立小中学校及び子ども園への空調設備設置に関する経費、前年度繰越金の確定による財政調整基金積立金などの補正を行うもの。補正予算の規模は14億6300万円。

▼主な内容

- ・東日本大震災復興交付金返還金 11億3256万5千円
- ・東日本大震災復興交付金基金積立金



平成 30 年度一般会計等補正予算一覧表

会計名	補正予算額	予算総額
一般会計	14 億 8,790 万 5 千円	338 億 9,180 万 5 千円
介護保険特別会計 (保険事業勘定)	3,541 万 5 千円	46 億 6,695 万 8 千円
簡易水道事業特別会計	232 万 9 千円	5 億 1,234 万 7 千円
漁業集落排水事業特別会計	46 万 2 千円	2 億 2,493 万 6 千円
公共下水道事業特別会計	243 万 9 千円	28 億 3,606 万 3 千円
国民健康保険特別会計 (事業勘定)	2,819 万 9 千円	47 億 3,321 万 7 千円
国民健康保険特別会計 (診療施設勘定)	292 万 3 千円	2 億 9,814 万 3 千円

請 願

- △ 9 億 9 4 5 2 万円
 - ・ 財政調整基金積立金
 - 4 億 5 9 9 6 万 1 千円
 - ・ こども園空調設備設置事業
 - 7 3 7 9 万 2 千円
 - ・ 小学校空調設備設置事業
 - 4 億 4 4 4 0 万円
 - ・ 中学校空調設備設置事業
 - 2 億 5 5 5 3 万円
 - ・ 被災市街地復興土地区画整理事業
 - 3 6 7 0 万円
- 平成30年度大船渡市一般会計補正予算(第4号)を定めることについて
- 県の例に準じた給与の改正に伴う人件費の調整について補正を行うもの。補正予算の規模は2490万5千円。

○ 請願第2号

国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書

総務常任委員会に付託され審査が行われました。委員会では「景気は全体的に上向いているが、市内経済は厳しく、軽減税率等の税制度についても複雑な部分が多いため、消費税増税については中止すべきである。」「社会保障費の拡充等を考慮すると増税はやむを得ないし、好景気のいまだからこそ、増税に踏み切る機会と捉え、進めていく必要がある。」などの意見が出されました。

委員会及び本会議で採決が行われた結果、いずれも賛成少数で不採択となりました。



ご挨拶

大船渡市議会議長 熊谷昭浩

新年を迎え、市民の皆様にご挨拶申し上げます。日頃より市議会の活動に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。特に、大船渡市議会を代表いたしまして厚くお礼を申し上げます。

市内では、内外からの温かいご支援と市民の皆様が一丸となった取組により、住環境の整備や生業の再生が図られ、また、中心市街地では新たな街並みの形成によりかつての賑わいを取り戻しつつあるほか、被災跡地の利活用も進捗するなど、東日本大震災からの復興完遂に向け、各種事業が着実に進展しております。

一方、復興の先を見据えた地域経済の活性化や市民福祉の増進など、人口減少や少子高齢化に対応した地方創生に向け、その取組が喫緊の課題となっております。

このようなことから、当市議会では、総務・教育福祉・産業建設の各常任委員会を中心に、精力的に議会活動を

展開しております。先月には、当市議会初となる議会報告会を開催し、参加された方々より、さまざまな視点から多くの貴重なご意見をいただきました。

また、大震災以降、復興にかかる課題解決に向けて復興特別委員会を設置し、継続して調査活動を行っており、これらの活動を通して、市民の皆様の多様なニーズを的確に把握し、市政に反映させるよう、議会としての政策形成や市に対する提言書の提出などに、鋭意、取り組んでおります。

今後におきましても、議員一同、市民の皆様の声に真摯に耳を傾けながら、その負託、期待に全力で応えてまいりたいと考えておりますので、変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、皆様にとりまして本年が活気に満ちた素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げます。ご挨拶といたします。